

all angles.

Successful investors focus on every perspective

PODCAST

収益の予見性：防衛産業の未来に投資する

概要

- 防衛支出は、これまでとは構造的に異なるサイクルの初期段階にあります。各国の防衛予算は政策に基づき複数年単位で策定される傾向が強まっており、再軍備に伴う一時的な増加にとどまらず、長期的な拡大局面を支えています。
- 支出額だけでなく、支出の方法にも重要な変化が生じています。契約期間の長期化、数十年単位の防衛計画、調達改革により、収益の予見性と成長の持続性が防衛セクター全般で大きく改善しています。
- 防衛予算の配分が変化する中で、防衛セクター投資における銘柄選択の重要性が一段と高まっています。新規参入企業やサプライチェーンの進化により、バリューの源泉が再構築され、投資機会が拡大するとともに、セクター内での格差が拡大しています。
- イノベーションの加速に伴い、防衛産業はグロース型セクターへと再構築されつつあります。新たな防衛技術企業の台頭により、従来の安定したキャッシュフローを生む産業から、より成長志向でイノベーション主導型の産業へと変容しつつあります。

地政学的要因が政策決定や資本配分を左右する構造的要素としての影響力を強める中、防衛産業はその構造的変化の中核にあります。現在の防衛支出サイクルは、短期的な財政最適化ではなく、抑止力、強靭性、防衛能力の強化といった長期的な優先事項に支えられており、投資機会の性質は従来とは大きく異なっています。

我々は、防衛分野への投資を、地政学イベントに連動する戦術的トレードではなく、高い業績予見性を備えた長期的な投資テーマとして捉えています。多くの産業が景気サイクルや資本市場サイクルの影響を受けやすい環境下において、防衛セクターは持続的なキャッシュフローと分散効果を提供し得ると考えています。

当レポートは、機関投資家の利用を目的として作成しており、個人投資家の利用を目的としたものではありません。

執筆者



Sean Kenney
グローバル・
ディストリビューション部門
責任者



Elizabeth McGuire
株式リサーチ・アナリスト

PODCAST

収益の予見性：防衛産業の未来に投資する



防衛支出はこれまでとは構造的に異なるサイクルの初期段階にある

我々の見解によると、防衛産業は、政策に基づく複数年に亘る長期のサイクルへと移行しています。これにより、再軍備による短期的な需要増加ではなく、持続的な需要環境を生み出し得るものとみられます。防衛計画は長期にわたり緩やかに進捗する傾向があり、期間は複数年にわたり、生産能力を迅速に拡大するには実務上の制約が存在します。こうした要因により、好調局面は長期に亘り持続する可能性があり、長期投資家にとって収益の予見性を高める可能性があります。

投資への活用ポイント：

防衛産業への投資を「期間が重要な構造的アロケーション」として捉え直すことが有効と考えられます。短期的な材料に左右されるのではなく、複数年にわたるコミットメントや、持続的な需要の可能性に基づいたエクスポージャーを重視することが賢明です。

重要な変化は支出額だけでなく、支出方法にも生じている

最も重要な変化は、防衛予算の増額だけでなく、調達方法にあります。契約期間の長期化、数十年に及ぶ防衛計画、調達の改革などは、将来の受注や生産の予見性に関する見通しを向上させる要因となります。また各国政府は、長期契約による支援にとどまらず、生産能力の拡充や供給体制の整備に対する資金調達支援も強化しており、これにより資金面での制約が緩和され、納入や実行に対する信頼性の向上につながっているとみられます。契約構造や防衛計画の成熟度は、成果を左右する重要な要素です。受注がどのように生産へ転換されるのか、契約条件がマージンの持続性や実行リスクにどのように影響するのかといったファンダメンタルズの精査能力のある投資家にとって、防衛セクターはますます魅力的なリターンをもたらすと考えています。

投資への活用ポイント：

防衛支出総額の動向に注目するだけでなく、契約期間、防衛計画の進捗段階、実行能力など、収益の予見性を高める要因も考慮することが重要と考えます。

PODCAST

収益の予見性：防衛産業の未来に投資する



防衛予算の配分の変化により、銘柄選択の重要性が高まっている

新たな技術や新規参入企業の登場により、サプライチェーンが再構築され、防衛エコシステムは拡大しています。それに伴い、バリューが蓄積される領域も変化しており、投資機会が広がる一方で、企業間の格差も拡大しています。これは単純な「既存企業vsディスラプター」という構図ではありません。成長が自動的に収益性につながるわけではなく、また進化するバリューチェーン全体において実行力と資本規律が重要な差別化要因となる環境下、銘柄選択が極めて重要となります。

投資への活用ポイント：

防衛セクターを銘柄選択の重要性が高い市場として捉え、需要を持続的なキャッシュフローへと転換できるビジネスモデルやポジションを重視するとともに、投資機会が拡大する中で、収益性、実行リスク、資本配分について規律に沿った分析を行うことが重要と考えます。

イノベーションの加速により、防衛産業はグロース型セクターへと再構築されつつある

従来型の大手防衛企業に加え、自律型システム、ドローン、宇宙システム、ソフトウェア、データに注力する新興の防衛テクノロジー企業（いわゆる「ネオプライム」）が台頭しています。こうした企業はより迅速かつ低コストで機能を提供することを目指して従来の生産モデルに挑戦しており、既存企業の枠を超えて投資機会の裾野を広げています。

こうしたイノベーションは、成長の恩恵を受ける企業やバリュー創出のあり方に変化をもたらしています。その結果、防衛セクターは、歴史的に安定したキャッシュフローを生む産業から、よりダイナミックでイノベーション主導の市場環境へと移行しており、そのような環境下、銘柄選択の重要性が一層高まっています。

投資への活用ポイント：

既存の大手防衛企業か新興の防衛テクノロジー企業かを問わず、収益化への明確な道筋、優れた実行力、需要を持続的なキャッシュフローに転換できるビジネスモデルを重視することが重要と考えます。

結論

構造的な政策の方向性、調達改革、そして拡大するエコシステムにより、防衛需要の収益への転換プロセスが再構築されつつあります。これは投資家にとって、長期的な収益の予見性を高める可能性があります。こうした機会を捉えつつリスクを管理するためには、厳密なボトムアップ分析、防衛計画のキャッシュフローへの転換プロセスの把握、そしてエコシステムの進化に即した規律ある銘柄選択が不可欠であると考えます。

PODCAST

収益の予見性：防衛産業の未来に投資する

Aa.

当レポートの中の意見はMFSの意見であり、予告なく変更されることがあります。また、これらの見解は、投資助言、銘柄推奨、あるいはMFSの代理としての取引意思の表明と解釈されるべきではありません。

特に記載のない限り、ロゴ、商品名、サービス名はMFS®およびその関連会社の商標であり、一部の国においては登録されています。

当社の事前の許可なく、当レポートの複製、引用、転載、再配布を行うことを禁じます。

当レポートは、情報提供を目的としてマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー(MFS)および当社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当レポートは、MFSもしくは当社が信頼できると判断したデータ等に基づき作成しましたが、その正確性および完全性を保証するものではありません。当レポートは作成日時点のものであり、市場環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当レポートのデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。特定の銘柄・有価証券や業種等への言及がある場合は例示目的であり、それらを推奨するものではなく、また、必ずしもMFSの現在の見方を反映しているとは限りません。当レポートは特定の金融商品もしくはファンドの勧誘を目的とするものではありません。当社が提供する金融商品は、市場における価格の変動等により、元本欠損が生じる場合があります。また、お客様にご負担いただく手数料等は、各商品、サービスにより異なり、運用状況等により変動する場合があるため、予め金額または計算方法等を表示することはできません。当レポートに基づいてとられた投資家の皆様の投資行動の結果については、MFS および当社は一切責任を負いません。詳しくは契約締結前交付書面その他の開示資料等をお読みください。

MFSインベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第312号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会

当レポートは、機関投資家の利用を目的として作成しており、個人投資家の利用を目的としたものではありません。